

製品名: SSTR4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18310**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	42kDa

抗原情報

遺伝子名	SSTR4
別名	SSTR4; Somatostatin receptor type 4; SS-4-R; SS4-R; SS4R
遺伝子 ID	6754.0
SwissProt ID	P31391
免疫原	抗血清はヒト SSTR4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 155-204

背景

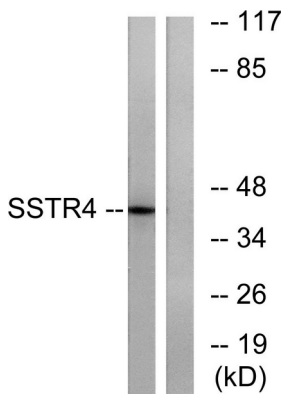
ソマトスタチンは多くの部位で作用し、多くのホルモンやその他の分泌タンパク質の放出を阻害します。ソマトスタチンの生物学的効果は、組織特異的に発現する G タンパク質共役受容体ファミリーを介していると考えられます。SSTR4 は、7つの膜貫通セグメン

トを持つ受容体スーパーファミリーのメンバーであり、胎児および成人の脳と肺で最も高いレベルで発現しています。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: ソマトスタチン 14 受容体。この受容体の活性は、アデニル酸シクラーゼを阻害する G タンパク質によって媒介されます。この受容体は、アデニル酸シクラーゼの阻害だけでなく、アラキドン酸放出とマイトジェン活性化タンパク質 (MAP) キナーゼカスケードの活性化にも機能的に共役しています。腫瘍細胞におけるソマトスタチンの抗増殖作用を媒介します。類似性:G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。組織特異性:胎児および成人の脳、肺組織、胃で特異的に発現し、腎臓、下垂体、副腎にも少量発現します。、

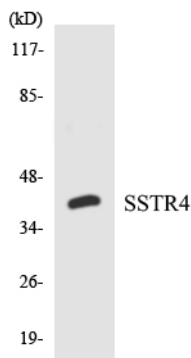
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



SSTR4 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



SSTR4 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。